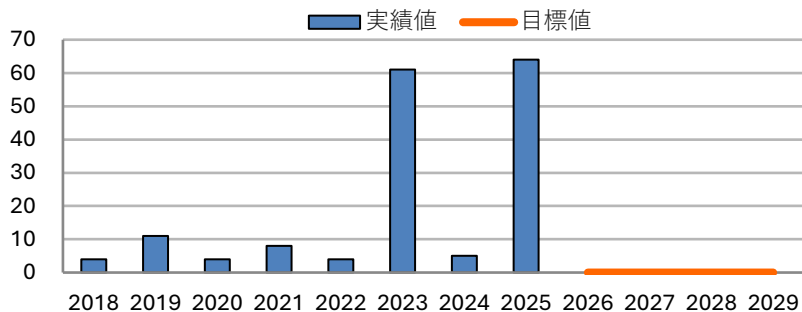


① 人の生活圏におけるツキノワグマによる人身被害者数[KGI]



◆指標設定の考え方

ツキノワグマの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、人の生活圏における人身被害が増加し、住民生活に重大な影響を与えているため。

◆現在の状況

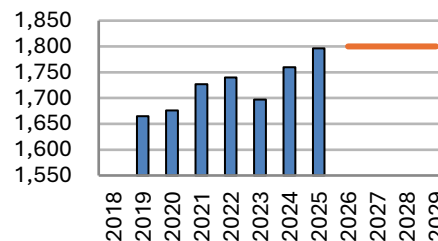
R7年度に人身被害者数が急増し、今年度も既に被害が発生している。

◆主な取組

- ・人とクマのすみ分けに向けた出没抑制対策
- ・市町村による野生鳥獣被害防止対策を支援
- ・被害防止体制の整備と普及啓発
- ・鳥獣捕獲の担い手となる狩猟者の確保・育成 等

(注)
 ・グラフの凡例は全グラフで同様。
 ・目標値は原則として2026以降を表示しているが、旧計画で指標に設定されていた項目等は2025年以前も表示している場合がある。

(1) 狩猟登録件数[KPI]



◆指標設定の考え方

野生鳥獣対策の推進には現場の狩猟者の安定確保が必要であるため。

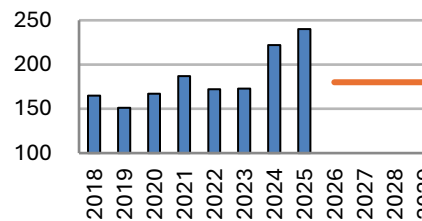
◆現在の状況

近年のクマの大量出没を受け、増加傾向にある。

◆主な取組

- ・狩猟免許の取得や銃器購入費の支援
- ・狩猟の魅力伝えるフォーラム開催

(2) 新規狩猟免許取得件数[KPI]



◆指標設定の考え方

鳥獣保護管理の継続には新たな担い手の安定確保が必要であるため。

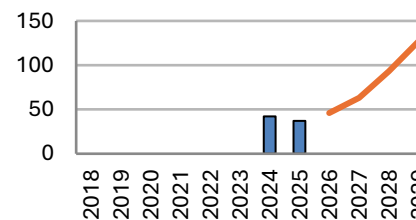
◆現在の状況

R7年度は近年最多の240件となった。

◆主な取組

- ・担い手確保に向けた免許取得の支援
- ・年5回の狩猟免許試験の着実な開催

(3) 鳥獣保護管理に従事する県・市町村の職員数[KPI]



◆指標設定の考え方

クマ被害防止には県と市町村の体制強化が必要であるため。

◆現在の状況

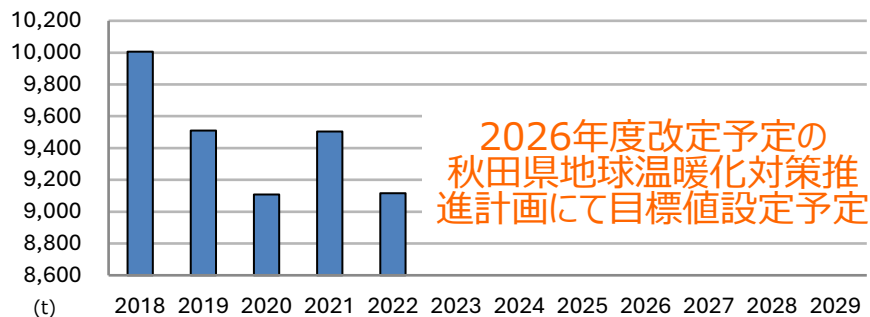
30～40人台であり、目標値との乖離が大きい。

◆主な取組

- ・専門知識を持つ鳥獣専門職員の確保
- ・市街地出没時の緊急対応要員の育成

政策・施策指標の状況について

② 県内の温室効果ガス排出量[KGI]



◆ 指標設定の考え方

脱炭素の取組の目的は気候変動を抑制することであるが、そのためには温室効果ガス排出量の削減が必要であり、県民及び事業者の省エネ等をはじめとした行動変容への波及が期待されるため。

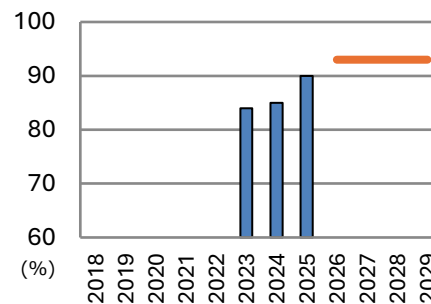
◆ 現在の状況

9,000千t台で推移し、わずかに減少傾向にある。

◆ 主な取組

- ・脱炭素型ライフスタイルへの転換を促す情報発信
- ・事業者のGXや脱炭素経営を促進する支援体制の構築
- ・将来を担う若者等の確保に向けた人材育成
- ・住宅の省エネ化支援 等

(1) 環境イベント来場者アンケートにおける「イベントを通じて環境に対する意識が高まった」と回答した割合[KPI]



◆ 指標設定の考え方

脱炭素型ライフスタイルの転換には環境意識の向上が必要であるため。

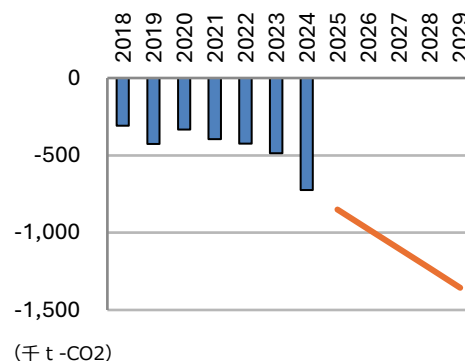
◆ 現在の状況

80%台から90%へ到達し、上昇傾向にある。

◆ 主な取組

- ・県民参加による体験型イベント開催
- ・環境配慮活動を促すデジタルコンテンツ

(2) 特定事業者等の温室効果ガス排出削減量[KPI]



◆ 指標設定の考え方

温室効果ガスの抑制には事業者の継続的な実践が必要であるため。

◆ 現在の状況

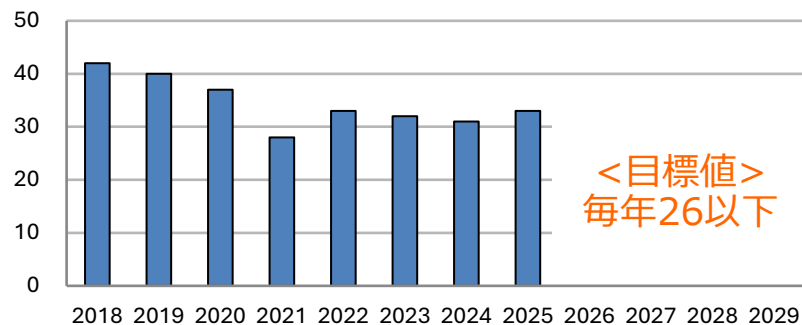
削減量は増加し、R6年度は724千tとなった。

◆ 主な取組

- ・GXネットワークによる脱炭素経営支援
- ・事業者向けLED照明への切替支援

政策・施策指標の状況について

③ 交通事故死者数[KGI]



◆ 指標設定の考え方

交通安全施策の最終的な帰着点となる「交通事故のない社会の実現」に向け、その中でも最優先で防ぐべき事態が交通死亡事故であるため。

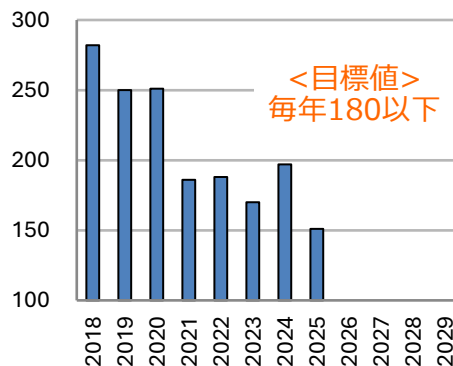
◆ 現在の状況

ここ数年は、30人台前半で推移している。

◆ 主な取組

- ・テレビCMなどによる高齢者の安全意識醸成
- ・季別交通安全運動や飲酒運転県民運動の展開
- ・自転車の安全利用促進
- ・防犯活動との連携促進 等

(1) 交通事故重傷者数[KPI]



◆ 指標設定の考え方

事故のない社会の実現には重傷事故の防止が必要であるため。

◆ 現在の状況

150～200人弱の間で増減している。

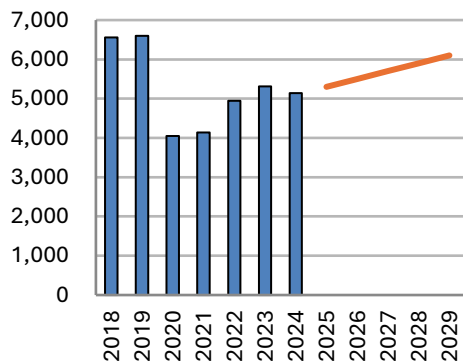
◆ 主な取組

- ・警察署員等による高齢者宅への個別訪問による個別注意喚起
- ・季別の交通安全運動や街頭活動の展開

政策・施策指標の状況について [その他各施策の指標]

施策1 豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する

(1) 自然公園等利用者数[KPI]



◆ 指標設定の考え方

豊かな自然の継承にはその美しさ・大切さの理解が重要であるため。

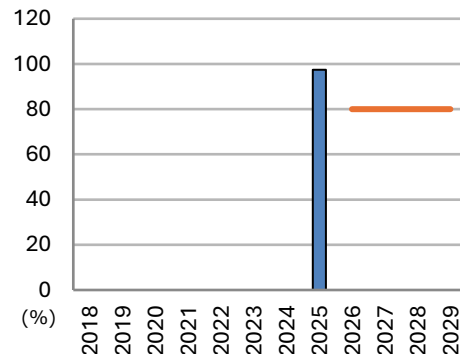
◆ 現在の状況

コロナ禍後、500万人台に回復。

◆ 主な取組

- ・観光部局と連携した自然公園等の情報発信
- ・老朽化や被災した公園施設の改修整備

(2) 白神山地での自然体験教室参加者の再訪希望率[KPI]



◆ 指標設定の考え方

自然環境の保全には将来的な関与への動機付けが必要であるため。

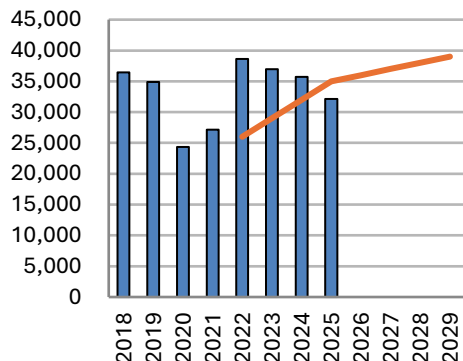
◆ 現在の状況

※新規に把握する項目

◆ 主な取組

- ・白神山地の価値を継承する小中高生向け環境教育の実施
- ・エコツアー商品の企画造成と発信強化

(3) 自然環境学習拠点施設等の利用者数[KPI]



◆ 指標設定の考え方

自然環境の保全には県民の理解と協力が必要であるため。

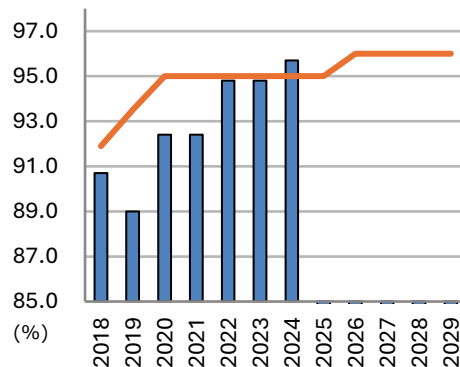
◆ 現在の状況

2022年以降減少傾向となっている。

◆ 主な取組

- ・若い世代向けの環境学習会等の開催
- ・生物多様性に関する意識啓発の推進

(4) 水環境 (三大湖沼を除く公共用水域) に係る環境基準達成率[KPI]



◆ 指標設定の考え方

生活環境の保全には良好な水環境の維持が必要であるため。

◆ 現在の状況

95%前後を維持している。

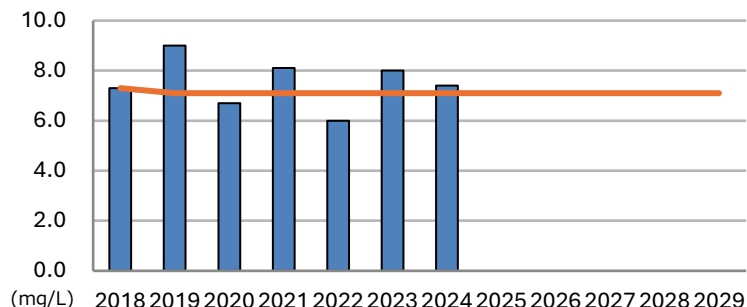
◆ 主な取組

- ・公共用水域における水質の常時監視
- ・法令に基づく工場等への監視と指導

政策・施策指標の状況について [その他各施策の指標]

施策1 豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する ※前頁からの続き

(5)八郎湖（湖心）のCOD75%値[KPI]



◆指標設定の考え方

八郎湖の水質保全には計画に基づき対策を実施し、水質を改善する必要があるため。

◆現在の状況

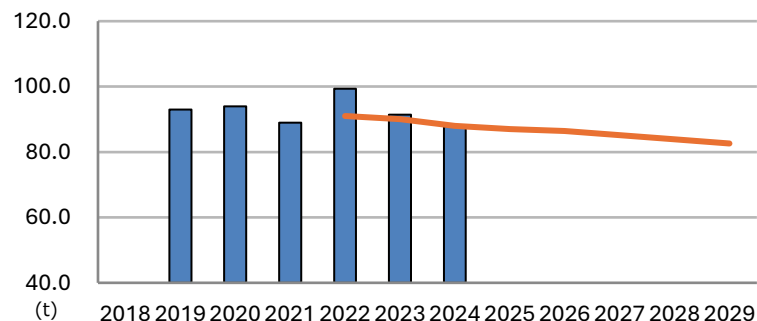
CODは横ばい傾向が続いている。

◆主な取組

- ・水質保全型農業等の汚濁負荷削減対策の推進
- ・湖底耕うん等の生態系保全の取組の推進

施策2 カーボンニュートラル(ネット・ゼロ)の実現に向けた地域社会を形成する

(1)廃棄物の最終処分量（公共関与分）[KPI]



◆指標設定の考え方

循環型社会の形成には廃棄物の発生抑制とリサイクルが必要であるため。

◆現在の状況

90千t前後から微減し、僅かに改善傾向にある。

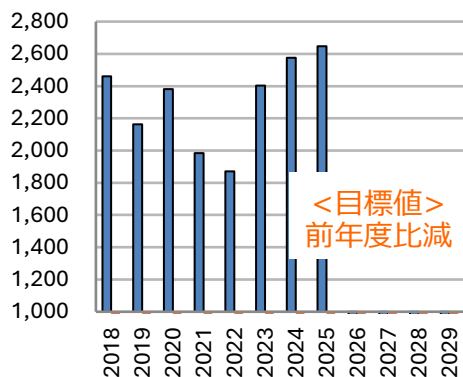
◆主な取組

- ・新聞や冊子を活用した3R意識の向上
- ・市町村のごみ処理施設の集約化促進

政策・施策指標の状況について [その他各施策の指標]

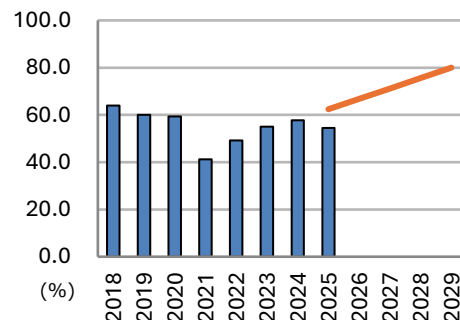
施策3 犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する

(1) 刑法犯認知件数[KPI]



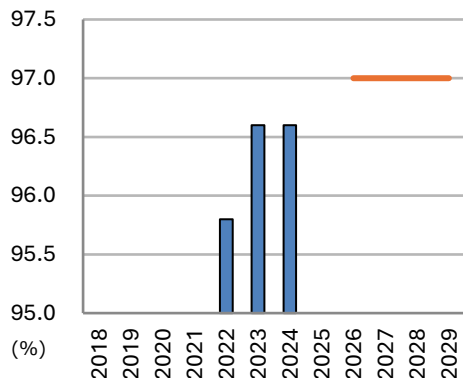
- ◆ **指標設定の考え方**
良好な治安の維持には犯罪発生リスクの低下が必要であるため。
- ◆ **現在の状況**
近年増加に転じ、2,500件を超過。
- ◆ **主な取組**
 - ・情報紙や出前講座による防犯情報の提供
 - ・企業や団体による自主的な防犯活動

(2) 犯罪被害者等に対する関心と理解を深めるイベント参加者のうち、今後犯罪被害者支援施策に協力したいと回答した参加者の割合[KPI]



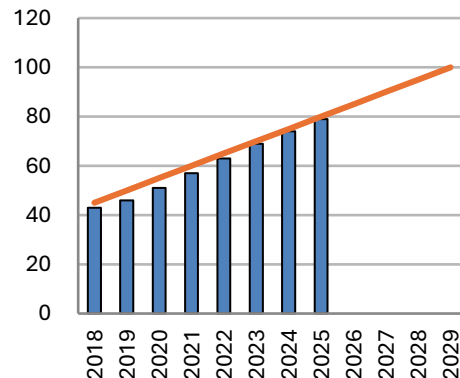
- ◆ **指標設定の考え方**
被害者支援の推進には県民の理解浸透が必要であるため。
- ◆ **現在の状況**
50%台で推移し、緩やかに上昇している。
- ◆ **主な取組**
 - ・犯罪被害者を考える日の啓発キャンペーン
 - ・犯罪被害者支援のための県民のつどい

(3) 消費生活相談員によるあっせん解決率[KPI]



- ◆ **指標設定の考え方**
消費者トラブルの解決には相談員によるあっせんが重要であるため。
- ◆ **現在の状況**
96%台の高い水準で安定している。
- ◆ **主な取組**
 - ・相談情報の分析及び消費者教育の推進
 - ・相談員の研修参加によるスキルアップ

(4) 除排雪団体数[KPI]

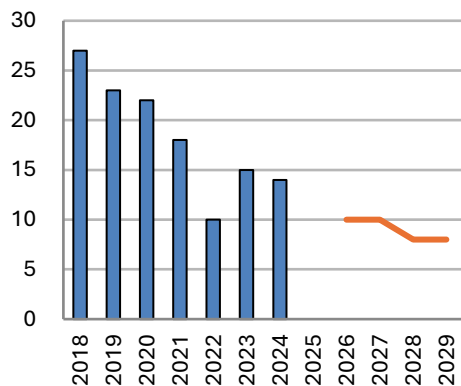


- ◆ **指標設定の考え方**
地域の除排雪体制の充実には主体的な支え合いが必要であるため。
- ◆ **現在の状況**
累計79団体であり着実に増加している。
- ◆ **主な取組**
 - ・除排雪団体の立ち上げや運営への助成
 - ・大学等と連携した除雪ボランティア

政策・施策指標の状況について [その他各施策の指標]

施策4 快適で質の高い生活環境を実現する

(1) 食品営業施設に対する指示書発行件数[KPI]



◆ 指標設定の考え方

食品衛生管理の推進には食品事業者の意識の向上による衛生管理の不備の減少が必要であるため。

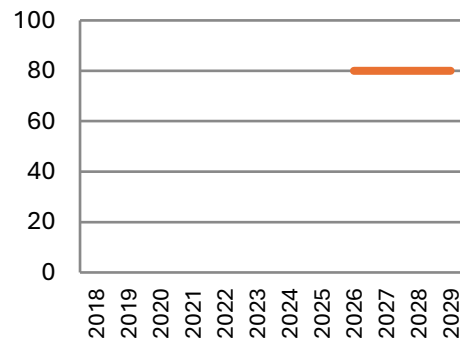
◆ 現在の状況

減少傾向にあり、R6年度は14件。

◆ 主な取組

- ・食品等事業者によるHACCPの導入・定着と支援
- ・推進員の巡回による衛生管理導入指導

(2) 生活衛生関係業者から受けた経営・融資等相談後の解決割合[KPI]



◆ 指標設定の考え方

経営の健全化には秋田県生活衛生営業指導センターによる助言指導が重要な役割を果たしているため。

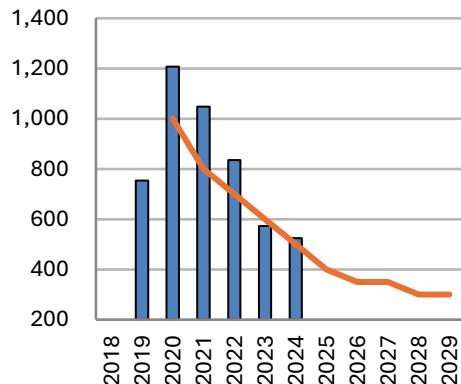
◆ 現在の状況

※新規に把握する項目

◆ 主な取組

- ・生活衛生関係業者の経営力の強化と担い手の育成に向けた支援
- ・生活衛生関係営業施設における衛生水準の維持向上に向けた取組への支援

(3) 動物愛護センターの犬猫収容頭数[KPI]



◆ 指標設定の考え方

人と動物が共生する社会の形成には飼い主の意識向上が必要であるため。

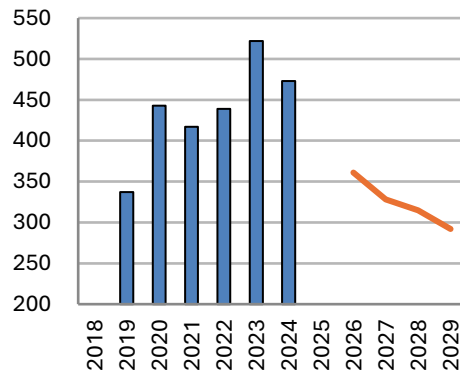
◆ 現在の状況

500頭台まで大幅に減少し、改善中。

◆ 主な取組

- ・犬猫の終生飼養及び適正飼養に関する普及啓発
- ・多頭飼育崩壊の未然防止対策の実施

(4) 動物愛護センターへの犬猫の苦情相談件数[KPI]



◆ 指標設定の考え方

犬猫に関するトラブルの減少には飼い主の責務の自覚と適正飼養が必要であるため。

◆ 現在の状況

R6年度は473件で、さらなる削減が必要である。

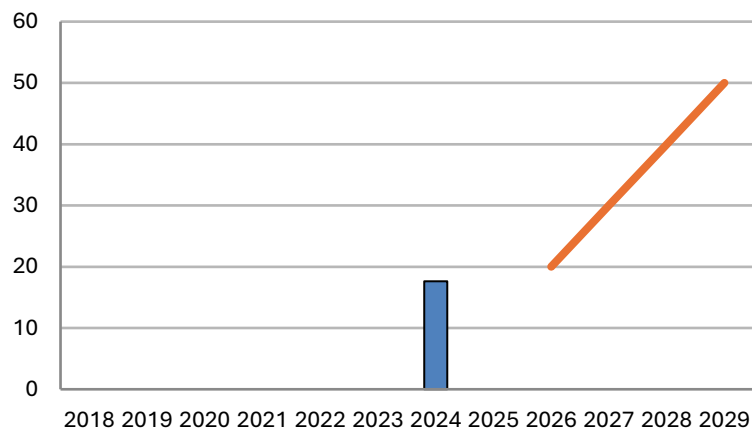
◆ 主な取組

- ・犬猫の適正飼養に関する普及啓発
- ・多頭飼育崩壊の未然防止対策の実施

政策・施策指標の状況について [その他各施策の指標]

施策4 快適で質の高い生活環境を実現する ※前頁からの続き

(5) オンライン申請利用率[KPI]



◆指標設定の考え方

県民の利便性向上にはオンライン申請環境の整備が必要であるため。

◆現在の状況

R6年度は17.6%であり、今後はさらなる向上を図る必要がある。

◆主な取組

- ・申請フォームの改善や効果的な周知
- ・未整備の行政手続のオンライン化推進